

つなぐ



<現在の設立状況(28.12.1)>

まちづくり協議会	21地区
まちづくり協議会準備会	0地区

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P：http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/machidukuri.html

Vol. 10



堀江地区まちづくりコミュニティ会議 設立 10 周年記念大会



平成 18 年設立
総会の様子

堀江地区まちづくりコミュニティ会議設立 10 周年記念大会が 11 月 20 日(日)堀江小学校で開催されました。

大会では、松山市から堀江地区まちづくりコミュニティ会議へ表彰状が送られました。また同会議からこれまで堀江地区のまちづくりに貢献された方や団体への表彰も行われました。

表彰を受けた設立時の会長である久保田公夫元会長は謝辞の中で「10 年前のことを今でも昨日のことのように思い出します。堀江を愛着と誇りのもてるふるさとという同じ志を持った仲間を支えられ、10 年という節目を迎えることができたのだと思います。」と振り返っていました。

また堀江港にぎわい祭りや青空市など堀江港の更なる活性化に向けたイベントにも協力しています。

平成 21 年に呉港へのフェリーが廃止され、堀江港の活性化が地域課題として浮上しました。

そこで、まち協が中心となる地域のイベントで活用できる様な施設を整備してほしいという地区の要望を取りまとめ、ほりえ海の駅「うみてらす」の整備を働きかけました。

平成 18 年の設立以来、堀江まちづくりコミュニティ会議は様々な地域課題の解決や地域資源の活用に取り組んできました。



堀江港
活性化



暮らしに身近な町内会での取り組み事例ということで参考になった受講生も多かったようです。



北土居町内会の丹下会長



「北土居EMとことん音頭」

第2回

11月8日(火)
北土居町内会長の丹下正勝さんをお招きして、町内会単位で取り組む環境活動についてお話いただきました。資源ごみ回収やEM菌を活用した環境浄化についてお話いただきました。

また、北土居町内会女性部の方々にもお越しいただいて「北土居EMとことん音頭」を披露していただきました。

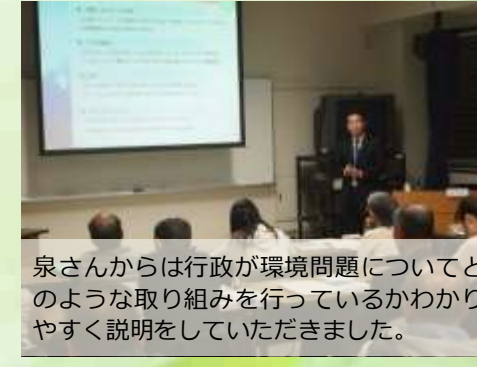
町内のイベントの最後に必ず参加者全員で踊ることにしているそうで、住民の方の環境意識の向上に一役買っています。



講座に入る前にお互いに自己紹介をして緊張をほぐしました。



李賢映先生の講義では環境問題についてユーモアを交えわかりやすく解説していただきました。



泉さんからは行政が環境問題についてどのような取り組みを行っているかわかりやすく説明をしていただきました。

第1回

11月1日(火)
愛媛大学の李賢映先生に「我々と環境問題」をテーマに、世界的に見た現在の環境問題の状況や課題を説明していただきました。環境問題の解決には経済とのバランスを考える必要があること、人を行動させるにはどのような情報を提供すればいいのかお話ししていただきました。

松山市役所環境モデル都市推進課の泉さんからは、環境モデル都市まつやまの取り組みについて説明していただきました。クリーンエネルギーの導入促進やスマートシティの推進、体験型バスツアーなどによる環境教育などが行われていることが詳しくわかりました。

参加者の声



河田さん

まちづくりに関心があり今回のセミナーに参加しました。地域で環境問題に取り組み、行動するには、多くの住民が地域とつながることが重要だと感じました。

グループワークなどを通して普段、話を聞く機会の少ない高齢者の方や様々な年代の方の話が聞けてとても良い経験ができました。



愛媛大学生のみなさん



竹田さん

今回のセミナーで地域によって取り組みに様々な違いがあることがわかりました。4回を通して学んだことを自分の地域で発信し課題の解決につなげたいです。



はがき作り

ミキサーで包装紙を細かくします



グループワークでは、講座で学んだことを実践するにはどうしたらよいか話し合いました。



修了証を授与して講座終了となりました。今後の活躍に期待します。

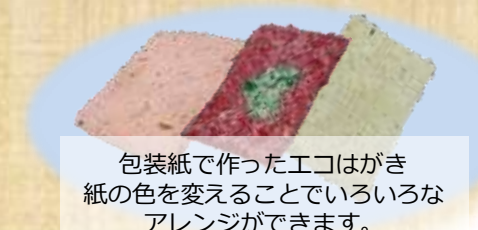
第4回

11月26日(土)
最終回はまつやまR・再来館での講座となりました。

はじめに吉田館長に施設案内をしていただきました。

施設見学後、松山市エコリーダーの渡部先生のご指導で包装紙を使ったエコはがきを作りました。

最後に松山市エコリーダーの小池先生にまとめの講義をしていただき、今回のセミナーで学んだことを行動に移すにはどうしたらよいかグループワークを行いました。



包装紙で作ったエコはがき紙の色を変えることでいろいろなアレンジができます。



松山市のコミュニティアドバイザーでもある前田先生



ごみに関して困っていることを付箋に書き出し発表していきます。



年代も立場も様々な参加者が話し合いながらまとめていきます。

第3回

11月15日(火)
愛媛大学社会連携推進機構の前田眞先生を講師に迎え「ごみで困っていること」をテーマにグループワークを行いました。

今回のセミナー参加者にはごみを出す側、ごみステーションを管理する側、それぞれの立場の方がいて、意見を出し合うことで初めて気づくこともあり、お互いに意見を交換しながら解決策を考えました。どのグループもごみ出しのマナーに関する悩みが多く、ルール周知徹底や地域コミュニティの強化、ごみ出しルールがわかるアプリの開発といった意見が出されました。



各班で解決策をまとめ発表しました。

地域包括ケアシステム 構築に向けた研修会 味酒まち協



11月13日(日)味酒地区まちづくり協議会の地域包括ケアシステム構築に向けた研修会が行われました。

会場の味酒野でいれぎ荘には地域の方や福祉関係の仕事に就かれている方など約150名が参加し、地域包括ケアシステムの構築における地域の役割についての説明、実際に地域活動に取り組んでいる団体の事例発表が行われました。

久谷地区まちづくり協議会設立総会



久谷地区(11.1 現在)
人口 9,906人
世帯数 3,352世帯

11月16日(水)久谷地区まちづくり協議会の設立総会が開催されました。松山市で21番目の協議会となります。

相原会長はいさつの中で「久谷には、豊かな自然や歴史的な文化財がたくさんある。久谷の魅力を生かしたまちづくりを進め、いやしの里久谷を作り上げたい。」と今後の活動への抱負を語りました。

余土地地区 文化財巡り



薬師寺

奈良時代の僧、行基ゆかりの寺で、かつては遠くからでも見える大きな寺でしたが、現在は民家に囲まれひっそりとしています。



日招八幡大神社

伊予八社八幡のひとつ鎌倉時代に入国した佐々木高綱が戦の途中、日が沈まないよう祈願したと伝わっています。

三島大明神社

境内には正岡子規の句碑があり明治28年に「行く秋や手を引きあひし松二木」という句を詠んでいます。



三島大明神社の大楠

樹齢はなんと600年参加者もその迫力に驚いていました。



10月23日(日)余土地地区まちづくり協議会主催の余土地地区文化財巡りが開催されました。子どもから高齢者まで30名ほどが参加し、日招八幡大神社、薬師寺、三島大明神社を巡りました。それぞれの寺社の歴史や伝承に関する地元の方の解説に、参加者も興味深く聞き入っていました。



余土地地区は閑静な住宅街が広がっています。住宅街の中に突然、神社やお寺が見えてくるので少し不思議な感じがしました。

雄郡地区防災訓練



訓練の企画運営を行った雄郡まち協の山下さん(右) 自主防災会の日野さん(左)

受付で避難者名簿を作成します



HUGとは・・・参加者は配布されたカードに記載された避難者になりきり、その状況で何ができ、どのような配慮が必要かを避難所運営を行うゲームです。

雄郡まち協安全安心部長の山下さんは「災害時に避難者の協力なしでの避難所の運営は難しい。今回の訓練やHUGを通して参加者には、避難者として支援を待つのではなく、自分には何ができるのかを考え、行動する意識を持ってほしい。」と話してくれました。

雄郡まち協安全安心部長の山下さんは「災害時に避難者の協力なしでの避難所の運営は難しい。今回の訓練やHUGを通して参加者には、避難者として支援を待つのではなく、自分には何ができるのかを考え、行動する意識を持ってほしい。」と話してくれました。

11月13日(日)雄郡地区防災訓練が実施されました。今回は地区内にある3つの小学校で同時に訓練を実施、より実践的な訓練を行いました。

たちばな小学校では参加者全員でHUG(避難所運営ゲーム)を行いました。